

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
デザイン論 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	窪田 雅代			実務経験	有	職種	インテリアコーディネーター				
担当教員紹介											
大学卒業後、I C 資格を取得。その後、インテリアの専門学校へ入学し、在学中に数々の賞を受賞。卒業後はリフォーム会社で実務経験を積み、現在はフリーランスのインテリアデザイナーとしてエンドユーザーを中心にお客さまに寄り添う提案をしている。その他、セミナー講師、テレビ東京【インテリア日和】への出演など、多岐に渡り活動中。											
授業概要											
インテリアデザイナー・コーディネータとして必要な基礎知識を学び、インテリアのプロとしての土台を築く。更に、インテリアを通じて、どのように社会へ携わり貢献していくのかなど、卒業後の将来も視野に入れ、学んでいく。											
到達目標											
講義を通じてインテリアデザイナー・コーディネータとしての役割や知識を学び、現代社会の抱える問題や求められている価値観等、時代に合った提案や生活者目線を忘れず、お客様の寄り添った姿勢の大切さを知る。 2年次に受験するインテリアコーディネーター資格取得を目指し、基礎学力を身に付ける。											
授業方法											
各単元ごとにテキストの内容を中心に資料を使って学ぶ。毎回、小テストを行い、知識の定着を図る。Google classroomにて資料（スライド）の共有を図り、生徒の家庭学習としても活用する。											
成績評価方法											
授業中の私語や受講態度には厳しく対応する 理由のない遅刻・欠席は認めない 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない											
履修上の注意											
各単元ごとに小テストを行い、知識の定着を図る。Googleclassroomにて資料（スライド）の共有を図り、各自印刷をし講義、生徒の家庭学習としても活用する。授業時数の3/4以上出席しない生徒は、定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
・インテリアコーディネーターハンドブック 総合版上巻 ・毎回授業にて資料配布を行う											
回数	授業計画										
第1回	インテリアコーディネーターの誕生と背景 インテリアコーディネーターの業務の流れや役割										
第2回	インテリアコーディネーターの実務 インテリアコーディネーターの仕事の内容や業務の中での注意事項などを理解する										
第3回	インテリアの歴史① 日本の歴史ー古代～中世の日本の建築及びインテリアの歴史について学ぶ										
第4回	インテリアの歴史② 日本の歴史ー近世～第二次世界大戦後の日本の建築及びインテリアの歴史について学ぶ										
第5回	インテリアの歴史③ 西洋の歴史ー古代～近世の日本の建築及びインテリアの歴史について学ぶ										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
デザイン論 1	
第6回	インテリアの歴史④ 西洋の歴史ー近代～第二次世界大戦後の日本の建築及びインテリアの歴史について学ぶ
第7回	インテリアコーディネーションの計画① 生活像と空間像、人体・動作寸法の検討を通じて人間工学を学び、寸法感覚を身に付ける
第8回	インテリアコーディネーションの計画② 感覚・知覚、心理行動の特性について学び、提案の幅を広げる
第9回	インテリアコーディネーションの計画③ 家具・機器の人間工学面の特性について学び、人体工学と日常生活の関係を理解し家具についての知識を深める
第10回	インテリアコーディネーションの計画④ 空間の配置と規模、寸法について学び、適切なレイアウトや動線、プランニングへの理解を深める
第11回	インテリアコーディネーションの計画⑤ 造形の基本原理を学び、より深い提案力をもったインテリアデザイナー・コーディネーターを目指す
第12回	インテリアコーディネーションの計画⑥ 色彩・安全性について学び、より安全に住まう為にどんな事に配慮すべきかを理解する
第13回	インテリアコーディネーションの計画⑦ コストと維持管理、生活場面や生活様式について学び、益々多様化する現代に対応した視点の大切さを理解する
第14回	インテリアコーディネーションの計画⑧ 各個室の生活場面を理解し適切な提案力を身に付ける。リフォームについてその必要性と内容を理解し知識を付ける
第15回	期末試験 後期単元の総まとめ。理解度、定着度を確認し、来年度の資格試験対策に繋げる